

T9

ユーザーマニュアル

■FineVuドライブレコーダーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書では、ドライブレコーダー『T9』の機能と操作方法をご案内しています。

製品に関する重要な注意事項や、正しい取り扱い方法なども記載されておりますので、ご利用になる前に必ずご一読ください。

また、お読みになった後は大切に保管してください。

■製品の仕様について

株式会社INBYTE(以下 弊社)では常に製品の改善を行っており、製品の仕様および外観は予告なく変更される場合がございます。

お客様のお買い上げ時期によっては、同一製品であっても多少の差異が生じる場合がございますので、ご了承ください。

製品の最新情報・ファームウェアに関しましては、弊社ホームページ(<http://inbyte.jp>)をご参照ください。

■著作権と商標

本書のいかなる部分も、Finedigitalの書面による事前の許可なしには、コピーまたは複製することができません。

FineVu はFinedigital Inc.の商標で、Finedigitalの許可なしには使用することができません。

その他、記載されている各会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

■認証

本製品は、FCC規則パート15に準ずるClassAのデジタル機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、商業地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。

本製品は無線周波数エネルギーを生成し使用しています。また、無線周波数エネルギーを放射する可能性があるため、本書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

製品名 :ドライブレコーダー(T9)

申請者名 :株式会社ファインデジタル

製造 :株式会社ファインデジタル(大韓民国)

連絡先 :0052-82-1588-6945

目次

◆安全上のご注意	4~5
警告	4
注意	5
◆製品の特長	6
◆製品の内容	7
セット内容	7
オプション	7
◆各部の名称と動作	8~9
フロントカメラ	8
リアカメラ	9
◆設置方法	10~15
設置場所の確認	10
フロントカメラの取り付け方法	11
リアカメラの取り付け方法	12
常時電現コード(オプション)の取り付け方法	13
AVケーブル(オプション)で外部モニタと接続	14~15
◆製品動作の概要	16~18
4つの録画方式	16
走行中(通常モード)の録画方式	17
駐車中(駐車モード)の録画方式	18

◆使用方法	19~22
本体ボタンの機能	19
各LEDによる動作状態の表示	20~21
音声案内の内容	22
◆パソコンで録画再生・本体設定	23~29
microSDカードの内容を確認する	23
ファームウェアのアップグレード	24
専用プレイヤー『FineVuT9 player』を使用する	25~29
◆管理方法	30~32
お手入れと保管の方法	30
メモリーカードのメンテナンス	31
故障かな?と思ったら	32
◆製品情報	33
録画時間の目安(2カメラ使用時)	33
仕様一覧	33
◆保証とアフターサービス	34
保証規定	34
株式会社INBYTEサポートセンター	34

安全上のご注意



警告

下記の注意事項を守らなかった場合、大けがや死亡などの人身事故の原因となります。

電源

- ・ 損傷または加工（改造）された電源ケーブルを使用しないでください。人身事故または車両の損傷を招く原因となります。
- ・ 本製品を定格電圧を超えて使用しないでください。人身事故または車両の損傷を招く原因となります。
- ・ 電源ケーブルを切断して接続しないでください。火災または製品の故障につながります。

設置

- ・ 本製品を高い湿度または引火性液体や可燃性ガスにさらされるおそれのある場所で使用しないでください。爆発や火災を招く原因となります。
- ・ 閉め切った車内または直射日光など、高温になる場所に本製品を長時間放置しないでください。火災または製品の故障につながります。
- ・ 視界を遮る場所に本製品を設置しないでください。自動車事故の原因となります。
- ・ ケーブルは適切に差し込んでください。火災または製品の故障につながります。

使用

- ・ 本製品が引火性液体または爆発性液体やガスに接触しないようにしてください。爆発や火災を招く原因となります。
- ・ 金属や可燃性物質が本体のメモリーカードスロットやコード差込口に入らないようにしてください。感電や火災につながります。
- ・ 感電する恐れがありますので、濡れた手で本製品を操作しないでください。
- ・ お子様の手の届くところに本製品やそのアクセサリを放置しないでください。お子様が小さな部品を飲み込み、重傷を負ったり死亡事故につながる恐れがあります。
- ・ 使用中、布や毛布で本製品を覆わないでください。熱し続けると火災や製品故障の原因となります。
- ・ 運転中は本製品を操作しないでください。自動車事故の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

設置

- ・ 常時電源コードの設置は個人では行わないでください。車種により接続方法が異なりますので、必ず専門の技術者に設置をご依頼ください。誤った接続を行うと、製品および車両故障の原因となる恐れがあります。

使用

- ・ 本体やレンズに過度の力をかけないでください。製品故障の原因となります。
- ・ 尖った物や鋭い物を本製品に対して使用しないでください。製品故障の原因となります。
- ・ 本製品に水やワックスを直接かけないでください。感電または製品故障の原因となります。
- ・ 長時間使用した場合は本体が熱くなり、触れると火傷の原因となります。
- ・ 本製品を分解または改造しないでください。製品が破損したりデータが失われる原因となります。
- ・ 撮影時はレンズが遮られないように注意してください。

管理

- ・ 本製品およびアクセサリーをペットの周辺に置かないでください。ペットの毛など、異質物が製品内部に流入し、爆発や故障の原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を長期間使用しない場合、電源ケーブルを抜いてください。火災または製品の故障につながります。
- ・ 電源コードやその他ケーブルが差し込まれている状態で製品を移動させないでください。火災や感電につながります。

Note

- ・ 本書の内容を許可なく複写することはできません。
- ・ 製品の仕様や本書の内容は、性能の改良のために事前の通知なしに変更することがあります。
- ・ 大きな事故や水没などで本体およびバッテリーが損傷を受けた場合や、本体とバッテリー間の電源コードが断線した場合は、映像が記録できないことがあります。
- ・ 本製品で映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切責任を負いません。

製品の特長

鮮明な画質

- ・ フロントカメラは1280×720のHD画質
- ・ リアカメラは640×480のVGA画質
- ・ 2カメラともに30fpsの滑らかな映像
- ・ 対角111度の広い視野角

オプションで駐車中の録画に対応

- ・ エンジン停止にあわせて、自動で駐車モードに切り替え
- ・ バッテリー上がりを防止する電圧監視機能内蔵
- ・ 停車後、一定時間で録画を終了するタイマー機能内蔵
- ・ 駐車中はメモリ節約の為、動体検知・衝撃感知のみ撮影

多彩な録画モード

- ・ 走行中 常時録画／衝撃感知録画／緊急録画(手動)
- ・ 駐車中 動体検知録画／衝撃感知録画／緊急録画(手動)

手軽な設置・便利な機能

- ・ ブラケットからの脱着が簡単
- ・ 素早い起動で発車直後の撮り逃しを防止
- ・ 日本語の音声案内を搭載
- ・ 高感度マイクによる車内録音

予備電源(スーパーキャパシタ)内蔵

- ・ 事故またはその他理由により電源が遮断された場合でも、内蔵の予備電源により録画データを正しく保存(予備電源は数秒動作)

パソコンに簡単接続

- ・ 一般的な動画プレイヤーでも再生可能なファイル形式
- ・ 便利な専用プレイヤーが付属(Windows専用)
- ・ 専用プレイヤーでは本体設定の変更も可能。(セキュリティLEDのオン／オフ、衝撃感知の感度設定、各録画方式の保存比率設定 など)

製品の内容

セット内容



フロントカメラ



ブラケット



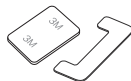
リアカメラ



カメラ接続用
ケーブル



ケーブルクリップ



両面テープ 2組
(1組は予備)



電源コード
(シガーソケット用)

T9 専用



専用microSDカード
(16GB)



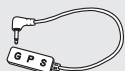
SDカードアダプター



ユーザーマニュアル
(本書)

オプション

T9 専用



GPSモジュール^{※1}

T9 専用



常時電源コード^{※2}

T9 専用



4 極ミニプラグ用
AVケーブル^{※1}

FineVuシリーズ専用



純正microSDカード
(32GB)

T9 専用



赤外線付き
リアカメラ

※1 『GPSモジュール』と『4 極ミニプラグ用AVケーブル』は併用できません。

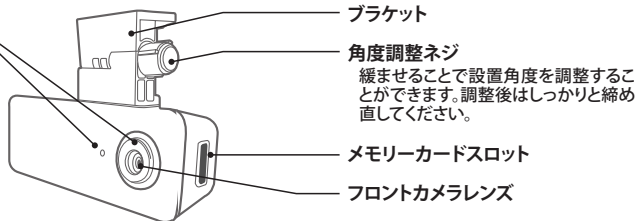
※2 駐車モードの動作には『常時電源コード』が必要となります。

各部の名称と動作

フロントカメラ

* 正面

セキュリティLED
駐車モード中のみ点灯します。



* 背面

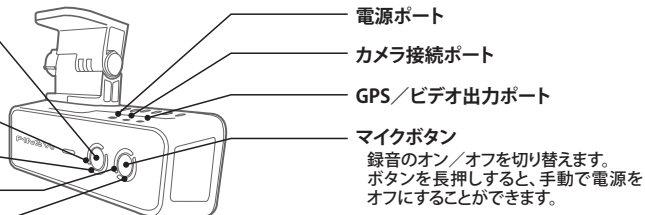
緊急録画ボタン
緊急録画を開始します。
ボタンを長押しすると、メモリーカードをフォーマットします。

R-CAM (LED)

REC (LED)

GPS (LED)

VOICE (LED)

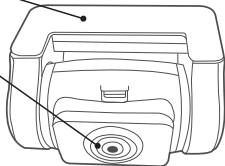


リアカメラ

* 正面

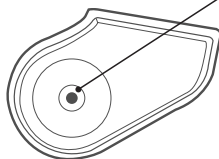
ブラケット

リアカメラレンズ



* 側面(背面から見て左側)

カメラ接続ポート



* 背面

映像反転スイッチ

リアカメラ映像の左右反転を切り替えます。スイッチを『反転』にすると、録画映像・外部モニタへの出力が左右反転します。
N:通常/M:反転

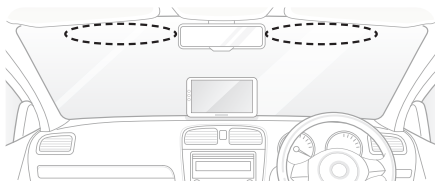


設置方法

設置場所の確認

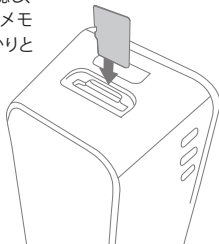
* フロントカメラの取り付け位置

バックミラー付近のフロントガラスに設置してください。
フロントガラスの上部20%の範囲内に設置するよう法律で定められています。



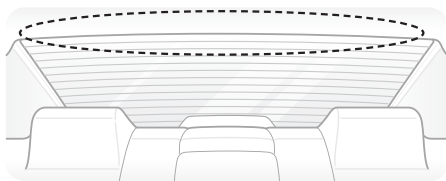
* microSDカードを挿入する

microSDカードの向きを確認し、
フロントカメラ側面にあるメモ
リーカードスロットにしっかりと
セットします。



* リアカメラの取り付け位置

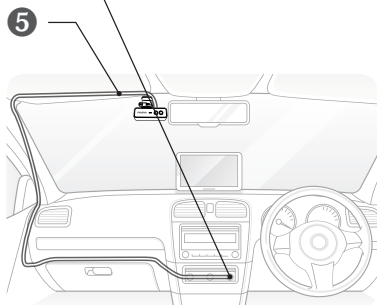
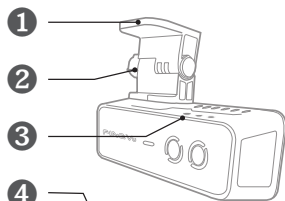
リアウィンドウ上部に取り付けることをお勧めします。



注意

運転手の視界を遮る場所に製品を設置しないでください。

フロントカメラの取り付け方法



- ① ブラケットはフロントカメラに取り付けられた状態で梱包されており、上部に強力両面テープが貼り付けられています。両面テープの剥離紙を剥がし、フロントカメラをフロントガラスに取り付けます。
- ② 角度調整ネジを緩ませ、フロントカメラの角度を調整し、再度しっかりと締め直します。
- ③ 電源ポートに電源コード(シガーソケット用)を差し込みます。
- ④ シガーソケットに電源コード(シガーソケット用)を差し込みます。
- ⑤ ケーブルクリップを使って電源コード(シガーソケット用)を配線します。



オプションの接続方法※

GPSモジュールをご利用になる場合

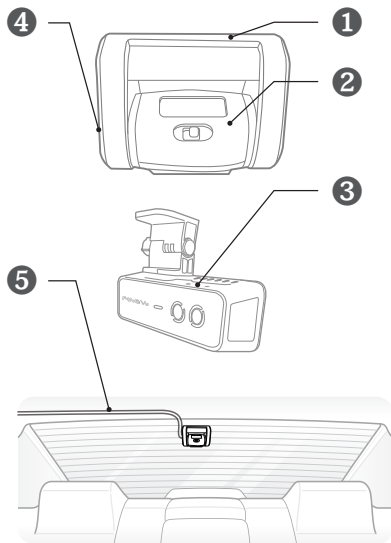
- ① GPS/ビデオ出力ポートにGPSモジュールの端子を接続する
- ② GPSモジュールをフロントガラスの上部に貼り付ける

4極ミニプラグ用AVケーブルで外部モニタを接続する場合

P.24『AVケーブル(オプション)で外部モニタと接続』をご参照ください。

※GPSモジュールとAVケーブルは併用できません。

リアカメラの取り付け方法



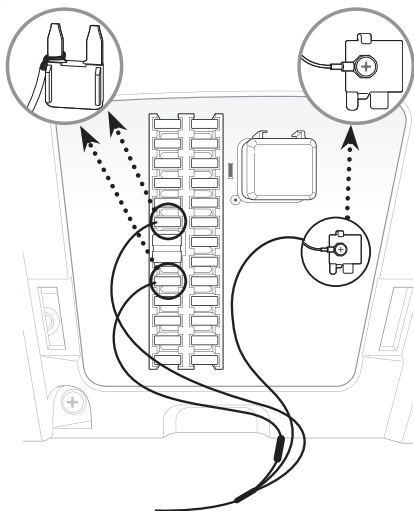
- 1 リアカメラのブラケット部分には強力両面テープが貼り付けられています。
両面テープの剥離紙を剥がし、リアカメラをリアウィンドウに取り付けます。
- 2 ブラケットを片手で押さえながら本体を回すようにすると、レンズ角度を調整することができます。
- 3 フロントカメラのカメラ接続ポートに、カメラ接続用ケーブルを差し込みます。
- 4 リアカメラのカメラ接続ポートに、カメラ接続用ケーブルを差し込みます。
- 5 ケーブルクリップを使ってカメラ接続用ケーブルを配線します。

常時電源コード(オプション)の取り付け方法

駐車モードの使用には常時電源コード(オプション)が必要です。また、**ヒューズボックスへの接続が必要になりますので、個人で設置を行わず専門業者へご依頼ください**。誤った配線を行うと、製品や車両が故障する原因となります。

BatteryとACC線をヒューズに接続

GND線をアースに接続

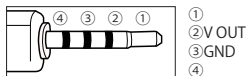


- 1 エンジンが掛かっていないことを確認し、ヒューズボックスの蓋を開けます。(ヒューズボックスの位置は車種により異なります)
- 2 常時電源コードのBattery(黄コード)を、常時電源が入るヒューズ(室内等、ハザードランプ等)のいずれか1つに接続します。
- 3 常時電源コードのACC(赤コード)を、アクセサリ電源が入るヒューズに接続します。
- 4 常時電源コードのGND(黒コード)を、アース取り付け部分に接続します。
- 5 ケーブルクリップを使って常時電源コードを配線します。
- 6 常時電源コードをフロントカメラの電源ポートに接続します。

AVケーブル(オプション)で外部モニタと接続

外部モニタへの出力には4極ミニプラグ用AVケーブル(オプション)が必要です。また、**4極ミニプラグには極性があり、端子とポートの極性が一致しない場合、映像を出力することができません。**4極ミニプラグ用AVケーブルおよび接続する外部モニタの極性をご確認の上でご利用ください。

- ①** 外部モニタと接続する前に、4極ミニプラグ用AVケーブルのピン極性を確認します。



- ②** フロントカメラ上部のGPS／ビデオ出力ポートにAVケーブルを接続します。

- ③** AVケーブルのもう一方の端子を、外部モニタのビデオ入力ポートに接続します。



出力されるリアカメラ映像の通常／反転を切り替える場合は、リアカメラ背面の『映像反転スイッチ』を操作します。(N:通常／M:反転)

- ・スイッチを反転側に切り替えると、録画されるリアカメラ映像も左右反転します。なお、スイッチを切り替えた直後の約1秒間は、リアカメラ映像が記録されず、フロントカメラ映像のみ保存されます。
- ・スイッチ操作後、再起動することで、出力映像に変更が反映されます。

フロントカメラ・リアカメラを使用している場合

外部出力時は2カメラの映像が同時出力されます。リアカメラの映像は画面右上に表示されます。

※どちらか一方のみ出力することはできません。

フロントカメラのみ使用している場合

フロントカメラの映像のみが出力されます。

画面の左下には記録中のファイル名が表示されます。ファイル名は、記録中のファイルの生成日時でつけられます。



ファイル名

リアカメラ映像

製品動作の概要

4つの録画方式

本製品には、4つの録画方式が搭載されています。録画データは録画方式ごとにフォルダへ振り分けられます。

フォルダにはそれぞれ保存容量が設定されており、超過する場合、フォルダ内で古いデータを削除して新しいデータを書き込みます。
残しておきたい録画データは、必ずパソコンなどにバックアップしてください。



常時録画

エンジンをかけると自動で撮影を開始し、走行中は常に撮影し続けます。



緊急録画[※]

走行中または駐車中に緊急録画ボタンを押すことで開始します。ボタンを押す前15秒／押した後45秒(合計60秒)を1つのファイルとして保存します。



動体検知録画[※]

駐車中に動体を検知すると自動で開始されます。動体検知の前後15秒(合計30秒)を1つのファイルとして保存します。



衝撃感知録画[※]

走行中または駐車中に衝撃を感知すると自動で開始されます。衝撃感知の前後15秒(合計30秒)を1つのファイルとして保存します。

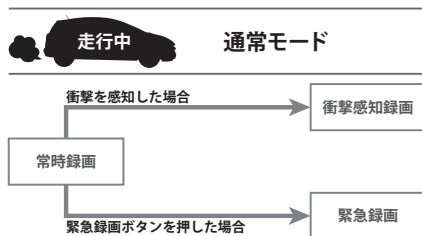
※『動体検知録画』および駐車中の『緊急録画』『衝撃感知録画』は、オプションの常時電源コードを設置している場合のみ動作します。

走行中(通常モード)の録画方式

電源コード(シガーソケット用)をご利用の場合、『通常モード』のみで動作します。常時電源コード(オプション)をご利用の場合は、エンジンがオンになっている間は『通常モード』で動作します。

通常モード中は常に録画を行います。また、車両が衝撃を受けた場合には自動で衝撃感知録画へ切り替わります。衝撃感知のレベルは本体設定プログラムで変更することができます。

緊急録画はボタンを押した場合のみ動作し、自動で切り替わることはありません。



記録方式	説明	保存先フォルダ名
常時録画	走行時における通常の録画方式です。走行中の映像を常に保存し続けます。 1分間を1つのファイルとして保存します。	normal
衝撃感知録画	衝撃センサーが振動を感知すると、自動的に動作します。 衝撃感知の前後15秒(合計30秒)を1つのファイルとして保存します。 衝撃感知録画の終了後は自動的に常時録画へ戻ります。	event
緊急録画	緊急録画ボタンを押すことで動作します。 ボタンを押す前の15秒と、押した後の45秒(合計60秒)を1つのファイルとして保存します。 緊急録画の終了後は自動的に常時録画へ戻ります。 自動では動作しないため、比較的上書きされにくい録画方式です。常時録画中、保護しておきたい場面があったときなどに有効です。	camcorder

参照ページ

P.20『各LEDによる動作状態の表示』

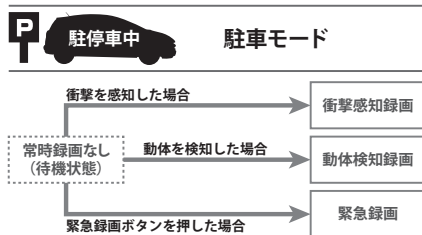
P.28『本体設定の変更方法』

駐停車中(駐車モード)の録画方式

駐車モードの使用には常時電源コード(オプション)が必要です。
ヒューズボックスへの接続が必要になりますので、専門業者へ設置をご依頼ください。

常時電源コードで接続されている場合、エンジンをオフにすると『駐車モード』が動作します。駐車モード中は常時録画を行わず、カメラ範囲内に動きがあった場合、動体検知録画を開始します。

なお、駐車モード中は、一定温度以上または一定電圧以下で自動で動作を停止する機能がご利用いただけます。機能のオン/オフや動作を停止する電圧の基準は、本体設定プログラムで変更することができます。



記録方式	説明	保存先フォルダ名
動体検知録画	カメラの範囲内で動体を検知すると、自動的に動作します。 動体検知の前後15秒(合計30秒)を1つのファイルとして保存します。 動体検知録画の終了後は自動的に待機状態へ戻ります。	motion
衝撃感知録画	衝撃センサーが振動を検知すると、自動的に動作します。 衝撃感知の前後15秒(合計30秒)を1つのファイルとして保存します。 衝撃感知録画の終了後は自動的に待機状態へ戻ります。	event
緊急録画	緊急録画ボタンを押すことで動作します。 ボタンを押す前の15秒と、押した後の45秒(合計60秒)を1つのファイルとして保存します。 自動では動作しないため、比較的上書きされにくい録画方式です。駐車中、保護しておきたい場面があったときなどに有効です。	camcorder

参照ページ



P.28『本体設定の変更方法』

使用方法

本体ボタンの機能

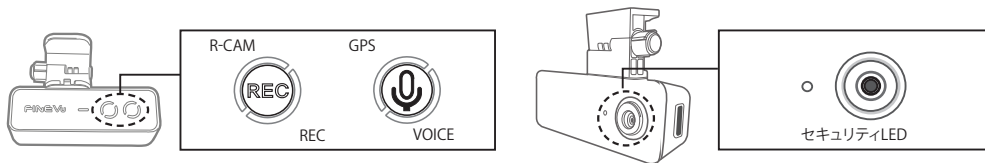
T9のフロントカメラには2つのボタンが付いています。背面から見て左側が『緊急録画ボタン』、右側が『マイクボタン』です。各ボタンの機能は以下の通りです。
























ボタン	操作	動作
 緊急録画ボタン	押す	緊急録画を開始します。
	長押しする	microSDカードのフォーマットを行います。 ※全てのデータが消去されますので、大切なデータはバックアップを取ってから実行してください。
 マイクボタン	押す	録音のオン／オフを切り替えます。 手動で電源をオフにしていた場合：起動して録画を再開します。
	長押しする	手動で電源をオフにします。

各LEDによる動作状態の表示

T9のフロントカメラ背面には4つのLEDが付いています。背面から見て左から『R-CAM』、『REC』、『GPS』、『VOICE』です。
また、正面にはセキュリティLEDが付いています。
これらのLEDが示す本体の動作状態は以下の通りです。



LEDの状態	動作状態の説明
 R-CAM 点灯	リアカメラが接続されています。
 R-CAM 消灯	リアカメラが接続されていません。
 REC 点灯	常時録画中です。
 REC 点滅	衝撃感知録画／緊急録画／動体検知録画のいずれかの動作中です。
 REC 消灯	撮影をしていない状態です。(駐車モード中のみ)
 GPS 点灯	GPSモジュールが接続されています。
 GPS 消灯	GPSモジュールが接続されていません。

LEDの状態	動作状態の説明
 VOICE 点灯	録音がオンになっています。
 VOICE 消灯	録音がオフになっています。
  全てのLED 点灯	起動中です。起動は15秒前後で完了します。
  全てのLED 点滅	SDカードをフォーマットしています。
  R-CAM・GPS 点滅	SDカードが確認できません。 または削除できないデータが入っているため、録画データを保存できません。
  R-CAM・GPS 点滅 REC・VOICE 点灯	ファームウェアのアップグレードを行っています。
•  セキュリティLED 点滅*	駐車モード中です。 (衝撃・動体の検知がなく、撮影を行っていない状態)
•  セキュリティLED 高速点滅*	駐車モード中に動体検知録画を行っています。
•  セキュリティLED 点灯*	駐車モード中に衝撃感知録画を行っています。
○  セキュリティLED 消灯*	通常モード中(衝撃感知・緊急録画含む)です。

※本体の設定でセキュリティLEDをオフにしている場合、セキュリティLEDは点灯しません。(→P.29『本体設定プログラムの構成』)

音声案内の内容

T9には音声案内機能が搭載されています。音声案内の内容と解説は以下の通りです。

動作状態	音声案内の内容
起動、録画を開始	「録画を開始します」
日時が設定されていない場合	「時間設定を確認して下さい」
電源オフからの復帰	「システムを再起動します」
動作終了	「システムを終了します」
緊急録画／衝撃感知録画	ピコーンピコーン(ジングル音)
録音オフ	「録音を停止します」
録音オン	「録音を開始します」
ファームウェアのアップグレード	「アップグレードを開始します」
ファームウェアのアップグレード完了	「アップデートが完了しました」
リアカメラの接続を確認	「リアカメラが接続されています」
リアカメラの接続解除を確認	「リアカメラが取り外されました」
駐車モードへ切り替え	「パーキングモードです」
駐車モードからの復帰	「録画を開始します」
駐車モードからの復帰(駐車中、衝撃があった場合)	「録画を開始します。衝撃を感知しました」
電圧低下による動作停止機能の作動	「バッテリー保護のためシステムを終了します」
本体温度による動作停止機能の作動	「高温のためシステムを終了します」
microSDカードがセットされていない	「SDカードを確認してください」
microSDカードのフォーマットを実行	「SDカードをフォーマットします。電源を切らないでください」
microSDカードのフォーマットが完了	「SDカードがフォーマットされました。システムを再起動します」
外的要因により電源が遮断された場合	ピピッ(短い電子音)

パソコンで録画再生・本体設定

microSDカードの内容を確認する

- 1 付属のmicroSDカードをパソコンのmicroSDカードスロットにセットします。microSDカードスロットがない場合は、付属のSDアダプタを使用してSDカードスロットにセットするか、市販のSDカードリーダーをご利用ください。
- 2 パソコンとの接続が確立されるとリムーバブルディスクとして認識されますので、『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックしてください。



- 3 microSDカードの中身が表示されます。各フォルダの内容は以下の通りです。

フォルダ名	フォルダの内容
camcorder	緊急録画
event	衝撃感知録画
motion	動体検知録画
normal	常時録画
setting	設定ファイル

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアの更新や製品に関する情報は、株式会社INBYTEホームページ (www.inbyte.jp) でお知らせしています。

- 1 INBYTEホームページ (www.inbyte.jp) から最新のファームウェアをパソコンにダウンロードし、圧縮を解凍します。
- 2 付属のmicroSDカードをパソコンのmicroSDカードスロットにセットします。microSDカードスロットがない場合は、付属のSDアダプタを使用してSDカードスロットにセットするか、市販のSDカードリーダーをご利用ください。
- 3 パソコンとの接続が確立されるとリムーバブルディスクとして認識されますので、『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックしてください。
- 4 microSDカードの中身が表示されます。ルートディレクトリに解凍した最新ファームウェアをコピーしてください。
※ルートディレクトリ…どのフォルダにも入れない状態
- 5 コピーが完了したmicroSDカードをT9本体にセットして起動すると、自動的にアップグレードが行われます。

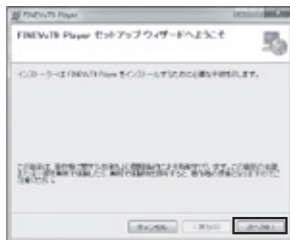


専用プレイヤー『FineVuT9 player』を使用する

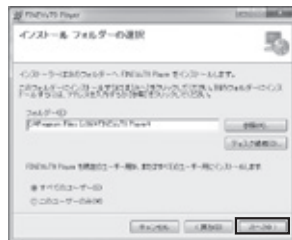
パソコンにFineVuT9 playerをインストールすると、録画データを手軽に確認したり、本体設定を変更することができます。

* インストールの方法

- 1 付属のmicroSDカードをパソコンのmicroSDカードスロットにセットします。microSDカードスロットがない場合は、付属のSDアダプタを使用してSDカードスロットにセットするか、市販のSDカードリーダーをご利用ください。
- 2 microSDカードフォルダを開き『Setup.exe』をダブルクリックしてインストールを開始します。パソコンの環境により、セキュリティの警告が表示されることがありますが、『実行』ボタンを押してインストールを続けてください。
図のような画面が表示されたら『次へ』をクリックします。



- 3 FineVuT9 playerをインストールする場所と、使用するユーザーの範囲を選択し、『次へ』をクリックします。
インストールの確認が表示されますので『次へ』をクリックします。







- 4 インストール完了後は『閉じる』を押して終了してください。
デスクトップにFINEVuT9 Playerのアイコンが作成されますのでダブルクリックして起動してください。



* 画面の構成



1 メニューバー

-  フォルダ読み込み
-  フルスクリーン切り替え
-  本体設定プログラム(P.29)
-  プレイヤーの情報を表示

2 再生画面

録画映像が表示される画面です。

3 動画ファイルの情報









表示される情報は以下の通りです。

[電圧] [解像度・fps] [録音のオン/オフ] [速度]
[Gセンサー反応] [日付] [時間]

4 再生動画シークバー・Gセンサーグラフ

再生動画のシークバーと、それに連動したGセンサーの感度グラフ画面です。

5 操作パネル

-  前のファイルを再生
-  早戻し
-  再生(再生中は一時停止ボタンになります)
-  早送り
-  次のファイルを再生
-  再生速度調整
-  明るさ調整
-  音量調整


6 カメラ切り替え

再生するカメラの映像を切り替えます。フロントカメラのみで撮影されたデータの場合は表示されません。

Front: フロントカメラ/Rear: リアカメラ/ALL: 2カメラ同時再生

7 GPSマップ

録画データにGPS情報が含まれている場合のみ更新されるウィンドウです。
(GPS情報がない場合は更新されません)

-  マップを独立したウィンドウで開きます。

8 ファイルリスト

読み込んだ録画データの一覧を表示する画面です。

番 号	ファイルの通し番号です。保存された日時順に割り振られます。
日 付	撮影された日付です。
時 間	撮影された時間です。
タイプ	撮影を行った記録方式です。 常時: 常時録画 イベント: 衝撃感知録画 緊急: 緊急録画 動体検知: 動体検知録画

* 動作に必要なスペック

項目	必要スペック	推奨スペック
OS	Windows Vista	Windows 7/8
HDD	50MB	70MB
CPU	Pentium4 3.0Ghz	Intel Dual Core 以上 AMD AthlonX2 以上
VGA	128MB	512MB
RAM	1GB	2GB
DirectX	9.0c	9.0c 以上
モニタ	1170×800	1280×1024

* 録画データを読み込む

- 1 メニューバーの■ボタンを押し、録画データが保存されているドライブを指定します。
- 2 ファイルリスト内に録画データの一覧が表示されますので、再生したいデータをダブルクリックしてください。

* ファイルを再生する

- 1 ファイルを読み込むと自動でフォルダ内のデータが再生されます。
- 2 任意のファイルを再生したい場合は、ファイルリストに表示されたファイル名をダブルクリックします。
- 3 フロントカメラ・リアカメラの映像を切り替えたい場合は、再生画面の下に表示されるカメラ切り替えボタンを押してください。

* 本体設定の変更方法

- 1 T9本体からmicroSDカードを取り外し、パソコンにセットします。
- 2 パソコンで『T9 FineVu Player』を起動させ、メニューバーの■ボタンを押し、設定画面を開きます。
- 3 『保存先の指定』の項目でmicroSDカードがセットされているドライブを選択します。
- 4 任意の設定に変更を加え、最後に『保存』ボタンを押すと、変更が保存されます。設定変更プログラムの画面はP.29を参照してください。

* 本体設定プログラムの構成



1 設定情報ファイルを保存する場所を指定します。T9用microSDカードが接続されているドライブを指定してください。横にある『フォーマット』ボタンを押すとmicroSDカードをフォーマットします。その際、microSDカード内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

2 駐車モードを使用する場合、経過時間による自動電源オフ機能を設定することができます。

3 3軸Gセンサーの衝撃感度レベルを設定できます。

4 電圧が一定以下になった場合、自動で電源オフにする機能を設定できます。12Vまたは24Vにチェックを入れ、数値を選択します。

5 現在の日付・時間を設定できます。
日時情報は録画データ内に保存されます。

6 録音のオン／オフを設定することができます。また、『スピーカー音量』では、スピーカーから出力される音の大きさを設定できます。

7 前方カメラ正面のLED点灯を設定できます。『点灯する』にチェックを入れると、LEDが点灯ようになります。(LEDは駐車モード中のみ点灯します)

8 本体温度が70℃以上になった場合、自動で電源をオフにする機能を設定できます。『使用する』にチェックを入れると機能を使用します。

9 microSDカードの保存領域に対して、各録画方式が占める容量を割り当てます。(Normal: 常時録画、Event: 衝撃感知録画、Motion: 動体検知録画、Camcorder: 緊急録画、Etc: システム領域)

10 『初期化』を押すことで全項目を工場出荷時の設定に戻します。

11 『保存』を押すことで変更した設定を反映させます。

お手入れと保管の方法

* お手入れの方法

- ・ レンズに汚れや異物が付いた場合、柔らかい布で拭き取ってください。直接レンズに触れないでください。
- ・ 高品質の映像を録画するために、レンズに手で触れたり、他の物と接触させたりしないでください。
- ・ 本体に汚れや異物が付いた場合、ティッシュや柔らかい布などで拭き取ってください。
- ・ 本体の端子に異物が入った場合は、無理に取り出したり分解したりせず、販売店に修理を依頼してください。

* 保管の方法

- ・ 本製品を長期間使用しない場合、車両から取り外し屋内に保管してください。
- ・ 保管の際は、箱に入れるなどして埃がかからないようにしてください。また、湿った場所を避けてください。
- ・ 保管の際は、電源が切れていることを確認してください。
- ・ 保管の際は、性能が低下することを防ぐために、メモリーカードは取り外してください。

メモリーカードのメンテナンス



* メモリーカード取扱いの注意点

microSDカードには書き込み可能回数の上限があります。

ドライブレコーダーは高画質で容量の大きい動画データを常時書き込みますので、他製品での利用よりも消耗が激しくなります。書き込み可能回数の上限に近づく、書き込みの不具合などが発生する恐れがあります。

そのため、定期的に点検を行い、場合によってはフォーマットをするなどして、メンテナンスをしてください。



* フォーマット方法

オペレーティングシステム（Windowsなど）には、記憶媒体をフォーマットするための機能が付属しています。ただし、こちらは汎用のフォーマット機能であり、microSDカード専用のものではありません。

弊社では、安全な状態でメモリーカードを使用するため、専用のフォーマットソフトを使用することを推奨しております。

メモリーカード規格を策定する『SDアソシエーション』から、専用のフォーマットソフトが無料で提供されています。下記URLをご参照ください。

SDアソシエーション SD／SDHC／SDXC用SDフォーマッター4.0

https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

※本内容は2014年8月現在の情報に基づいて作成されたものです。

故障かな？と思ったら

* 本体の電源が入らない

- ・電源コードが正しく接続されているかご確認ください。また、電圧監視機能などにより自動で動作停止した場合は、再度エンジンをかけるまでは動作しません。

* ボタンが動作しない

- ・起動が完了し、常時録画が開始されているかご確認ください。
- ・録画状態でも操作を受け付けない場合は、販売店にご相談ください。

* 製品が起動しない

- ・正規品の電源コードが正しく接続されているかご確認ください。
- ・常時電源コードをご利用の場合は、配線が正しくされているかご確認ください。
- ・microSDカードが製品に正しくセットされているかご確認ください。
- ・microSDカードのフォーマット形式がFAT32になっているかどうか確認してください。(NTFSまたはexFATは認識されません)
- ・microSDカードに不具合がないか、正規品(または推奨スペックを満たすもの)であるかご確認ください。

* 音が出力されない

- ・設定プログラムでスピーカー音量が最小になっていないかご確認ください。

* Setup.exeがmicroSDカード内がない

- ・microSDカードのフォーマットを行った場合、SDカード内のSetup.exeファイルも削除されます。ファイルは株式会社INBYTEホームページ(www.inbyte.jp)よりダウンロードすることができます。

* 録画データをパソコンで再生できない

- ・再生環境によっては正しく再生できない場合があります。専用プレイヤーでの再生をお試しください。また、パソコンのスペックをご確認ください。
- ・録画データに継続的なエラーが発生した場合は、販売店にご相談ください。

製品情報

録画時間の目安(2カメラ使用時)

メモリサイズ	項目	常時録画	イベント録画	動体検知録画	緊急録画
1 ファイルあたりの長さ		1 分	30秒	30秒	1 分
16GB 2 時間24分	割り当て比率 [※]	40%	10%	30%	10%
	最大保存時間 [※]	64分	16分	48分	16分
32GB 4 時間48分	割り当て比率 [※]	40%	10%	30%	10%
	最大保存時間 [※]	128分	32分	96分	32分

※割り当て容量は初期設定の値です。設定プログラムで変更した場合は、この値とは異なります。

仕様一覧

項目	仕様	備考
製品名	T9	
寸法／重さ	フロントカメラ 97×34.8×27.4mm／54g リアカメラ 50.5×41×24.9mm／24g	ケーブル・ブラケットの重量を除く
記録媒体	Micro SDHCカード (16GB～32GB)	Class10以上
記録方式	常時録画	1 分単位で録画を生成
	衝撃感知録画	衝撃発生の前15秒間を録画
	緊急録画	ボタンを押す前15秒／後45秒を録画
	駐車時 動体検知録画	動体検知の前15秒間を録画
画角	対角111度／水平86度／垂直64度(±5%)	
オーディオ	マイク・スピーカー内蔵	
加速度センサ	3 軸加速度センサ (+2g／-2g)	
入力電源	12～24V	
バッテリー	スーパーキャパシタ	電源切断時の終了動作にのみ使用
消費電力	約3.4W	
動作温度/保管温度	動作温度：-20℃～70℃／保管温度：-25℃～85℃	

保証とアフターサービス

保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より1年間無償で修理または交換いたします。
2. 修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
3. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担いただきますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等を避けるため簡易書留をご利用ください。
4. 保証期間内であっても以下の場合は有償修理となります。
 - イ. 誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
 - ロ. 火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
 - ハ. 許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
 - ニ. 使用中に生じたキズ等の外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
 - ヘ. 電池の液もれによる故障、損傷
 - ト. 保証書の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
5. 以下の内容については保証いたしかねますのでご了承ください。
 - イ. 記録されたデータ
 - ロ. 発生した事故の損害
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

* 修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(P.32)をよくお読みいただき、それでも解決しない場合はサポートセンターまでご相談ください。

株式会社INBYTE サポートセンター

メールアドレス admin@inbyte.jp
電話番号 03-6809-1702
受付時間 10:30~18:00
(土・日・祝祭日および当社指定休業日を除く)
ホームページ <http://inbyte.jp/>

- ・ 本製品に関するお問い合わせおよびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。
- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからお掛け直しいただきますようお願いいたします。
- ・ 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

製品保証書

機種名	T9	型番	
保証期間	お買い上げ日より 1 年間	お買い上げ日	年 月 日

お客様	お名前	
	ご住所	〒 —
	お電話番号	— —
	電子メール	@

販売店	<p>●お客様へ 本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいでください。 ※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。</p> <p>●販売店様へ お客様へのお渡し時に、販売店欄にご記入もしくは押印ください。</p> <p style="text-align: right;">インバイト 〒105-0013 株式会社 INBYTE 東京都港区浜松町1-17-4 第2丸芝ビル2階 TEL 03-6809-1702 （平日10：30～18：00）</p>
-----	--

